評価されるセキュリティ条件

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/health-checker/concept_what_security_criteria_is_being_evaluated.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

評価されるセキュリティ条件 . . . 1
Active IQ Unified Manager がセキュリティ基準を評価する方法を理解する . . . 1
Active IQ Unified Manager のクラスターコンプライアンスカテゴリについて . . . 1
Active IQ Unified Manager でのストレージ VM コンプライアンスカテゴリについて . . . 4
Active IQ Unified Manager のボリュームコンプライアンスカテゴリについて . . . 5

評価されるセキュリティ条件

Active IQ Unified Manager がセキュリティ基準を評価する方法を理解する

一般的に、ONTAPクラスター、ストレージ仮想マシン（SVM）、およびボリュームのセキュリティ基準は、_NetApp Security Hardening Guide for ONTAP 9_で定義されている推奨事項に基づいて評価されています。

セキュリティ チェックには、次のようなものがあります。

- クラスタがSAMLなどのセキュアな認証方式を使用しているかどうか
- ピア クラスタの通信が暗号化されているかどうか
- Storage VMの監査ログが有効になっているかどうか
- ボリュームでソフトウェアまたはハードウェアの暗号化が有効になっているかどうか

コンプライアンスカテゴリと "NetApp ONTAP 9 セキュリティ強化ガイド"に関するトピックで詳細情報をご確認ください。

> Active IQプラットフォームから報告されるアップグレード イベントもセキュリティ イベントとみなされます。これらのイベントは、ONTAPソフトウェア、ノード ファームウェア、またはオペレーティング システム ソフトウェア（セキュリティ アドバイザリ用）のアップグレードが必要な問題を示します。これらのイベントは[セキュリティ]パネルには表示されませんが、[イベント管理]インベントリ ページから確認できます。

詳細については、"クラスタのセキュリティ目標の管理"を参照してください。

Active IQ Unified Manager のクラスターコンプライアンスカテゴリについて

この表では、Unified Manager が評価するクラスタ セキュリティ コンプライアンス パラメーター、NetApp の推奨事項、およびそのパラメーターがクラスターの準拠または非準拠の全体的な判断に影響するかどうかについて説明します。

クラスター内に規格に準拠していないSVMが存在すると、クラスターの準拠値に影響します。そのため、場合によっては、クラスターのセキュリティが準拠しているとみなされる前に、SVMのセキュリティ問題を修正する必要があります。

以下のパラメータは、すべてのインストール環境で表示されるわけではありません。たとえば、ピア クラスタがない場合やクラスタでAutoSupportを無効にしている場合、「クラスタ ピアリング」や「AutoSupport HTTPS転送」の項目は表示されません。

パラメータ	説明	推奨事項	クラスターコンプライアンスに影響します
グローバル FIPS	グローバルFIPS（連邦情報処理標準）140-2準拠モードが有効になっているかどうかを示します。FIPSを有効にすると、TLSv1とSSLv3は無効になり、TLSv1.1とTLSv1.2のみが許可されます。	有効	はい
Telnet	システムへのTelnetアクセスが有効になっているどうかを示します。セキュアなリモート アクセスを確立するために、Secure Shell（SSH）を推奨します。	Disabled	はい
安全でない SSH 設定	*cbcで始まる暗号など、SSHが安全でない暗号を使用しているかどうかを示します。	×	はい
ログイン バナー	システムにアクセスするユーザに対してログインバナーが有効になっているかどうかを示します。	有効	はい
クラスタ ピアリング	ピア クラスタ間の通信が暗号化されているかどうかを示します。このパラメータが準拠とみなされるためには、ソースとデスティネーションの両方のクラスタで暗号化が設定されている必要があります。	暗号化	はい
ネットワーク タイム プロトコル	クラスターに1つ以上のNTPサーバーが設定されているかどうかを示します。冗長性と最高のサービスのために、NetAppはクラスターに少なくとも3つのNTPサーバーを関連付けることを推奨します。	設定	はい

パラメータ	説明	推奨事項	クラスターコンプライアンスに影響します
OCSP	9.14.1から、Active IQ Unified Managerは、ストレージ仮想マシン（SVM、旧称Vserver）レベルでオンライン証明書ステータスプロトコル（OCSP）のステータス情報を提供します。これは、SVMへのすべてのSSL/TLS接続にOCSP検証が適用され、これらの接続で使用される証明書の完全性と有効性が保証されることを意味します。	有効	×
リモート監査ログ	ログ転送（syslog）が暗号化されるかどうかを示します。	暗号化	はい
AutoSupport HTTPS 転送	HTTPSがAutoSupportメッセージをNetAppサポートに送信するためのデフォルトのトランスポートプロトコルとして使用されるかどうかを示します。	有効	はい
デフォルトの管理ユーザ	デフォルトの管理者ユーザー（組み込み）が有効か無効かを示します。NetApp では、不要な組み込みアカウントはロック（無効化）することを推奨します。	Disabled	はい
SAML ユーザ	SAMLが設定されているかどうかを示します。SAMLを使用すると、シングル サインオンのログイン方法として多要素認証（MFA）を設定できます。	×	×
Active Directory ユーザ	Active Directoryが設定されているかどうかを示します。Active DirectoryとLDAPは、クラスタにアクセスするユーザに対して推奨される認証メカニズムです。	×	×

パラメータ	説明	推奨事項	クラスターコンプライアンスに影響します
LDAP ユーザ	LDAPが設定されているかどうかを示します。Active DirectoryとLDAPは、ローカル ユーザよりもクラスタを管理するユーザに対して推奨される認証メカニズムです。	×	×
証明書ユーザ	証明書ユーザがクラスタにログインするように設定されているかどうかを示します。	×	×
ローカル ユーザ	ローカル ユーザがクラスタにログインするように設定されているかどうかを示します。	×	×
リモート シェル	RSHが有効になっているかどうかを示します。セキュリティ上の理由から、RSHは無効にしてください。セキュアなリモート アクセスを確立するために、Secure Shell（SSH）が推奨されます。	Disabled	はい
MD5 の使用	ONTAPユーザ アカウントに安全性が低いMD5ハッシュ関数が使用されているかどうかを示します。MD5ハッシュを使用したユーザ アカウントについては、より安全なSHA-512などの暗号化ハッシュ関数に移行することが推奨されます。	×	はい
証明書発行者タイプ	使用されているデジタル証明書のタイプを示します。	CA署名	×

Active IQ Unified Manager でのストレージ VM コンプライアンスカテゴリについて

次の表に、Unified Managerで評価されるStorage Virtual Machine（SVM）セキュリティコンプライアンスの各条件（パラメータ）、NetAppの推奨設定、およびSVMが準拠しているかどうかの総合的な判断にその条件が影響するかどうかを示します。

パラメータ	説明	推奨事項	**SVM**コンプライアンスに影響します
監査ログ	監査ログが有効になっているかどうかを示します。	有効	はい
安全でない SSH 設定	SSH が安全でない暗号を使用しているかどうかを示します。たとえば、`cbc*`で始まる暗号などです。	×	はい
ログイン バナー	システム上のSVMにアクセスするユーザーに対して、ログインバナーが有効になっているか無効になっているかを示します。	有効	はい
LDAP 暗号化	LDAP暗号化が有効になっているかどうかを示します。	有効	×
NTLM 認証	NTLM認証が有効になっているかどうかを示します。	有効	×
LDAP ペイロードの署名	LDAPペイロードの署名が有効になっているかどうかを示します。	有効	×
CHAP 設定	CHAPが有効になっているかどうかを示します。	有効	×
Kerberos V5	Kerberos V5認証が有効になっているかどうかを示します。	有効	×
NIS 認証	NIS認証の使用が設定されているかどうかを示します。	Disabled	×
FPolicy のステータスがアクティブ	FPolicyが作成されているかどうかを示します。	はい	×
SMB 暗号化が有効	SMBの署名と封印が有効になっているかどうかを示します。	はい	×
SMB 署名が有効	SMBの署名が有効になっているかどうかを示します。	はい	×

Active IQ Unified Manager のボリュームコンプライアンスカテゴリについて

この表は、Unified Manager がボリューム上のデータが不正ユーザーによるアクセスから

適切に保護されているかどうかを判断するために評価するボリューム暗号化パラメータについて説明しています。

ボリューム暗号化パラメータは、クラスタまたはStorage VMが準拠しているとみなされるかどうかには影響しません。

パラメータ	説明
ソフトウェアで暗号化	NetApp Volume Encryption（NVE）またはNetApp Aggregate Encryption（NAE）ソフトウェア暗号化ソリューションを使用して保護されているボリュームの数が表示されます。
ハードウェアで暗号化	NetApp Storage Encryption（NSE）ハードウェア暗号化を使用して保護されているボリュームの数が表示されます。
ソフトウェアとハードウェアで暗号化	ソフトウェア暗号化とハードウェア暗号化の両方で保護されているボリュームの数が表示されます。
暗号化なし	暗号化されていないボリュームの数が表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。